

# 石川県産業人材プランの概要

(本文P. 8～)

## 1 産業革新戦略に基づく施策

### ◎産業界において必要な人材の育成

- 大学、高専、産業技術専門学校等を活用した産業機械製造業における生産工程管理者等の育成
- 石川経営天書塾（次代の経営人材の育成）

### ◎各社固有の技術技能等の継承（特段の施策なし）

### ◎質の高い人材の確保

- 民間人材紹介会社間の連携による、高度専門技術者の誘致
- UIターンサポートセンターの開設

### ◎地元企業への就職

- 中学校、高校でのインターンシップ

### ◎人材確保が厳しい中小企業や能登地区等への対応

- PTSCO人材アドバイザーの配置（企業の魅力発信、採用能力向上への支援）

### ◎若者と企業の雇用のミスマッチ

- 若者しごと情報館（職業意識の形成）、ジョブカフェ石川（就職活動の支援）、ヤングハローワーク（職業紹介）による若年者の就業促進

### ◎潜在的な労働力の活用

- 女性再チャレンジ支援室、○Bスキルアップ講座等、再就職支援の取組を開始

(本文P. 10～)

## 2 産業界・教育界のニーズ、環境の変化

### ○アンケート調査

- ①県内企業（人材確保、育成ニーズ） 2,262社
- ②学校（キャリア教育支援ニーズ） 251校
- ③大学生（就職活動、就職意識） 400名
- ④在職者（早期離職の要因等） 500名
- 業界団体等との意見交換会 5回
- ヒアリング（大学、高校、企業、有識者） 205回
- パブリックコメント 53名（112件）

### ◎産業界において必要な人材の育成

- ・大部分の企業は、ベテランの技術、技能、ノウハウが今後も必要（83.5%）。
- ・事業分野の拡大、新商品開発、営業力強化等を担う人材育成ニーズの高まり
- ・国立大学の法人化や少子化に伴い、地域との連携強化の動きが活発

### ◎各社固有の技術技能等の継承

- ・指導者がいない、若手社員とコミュニケーションがとれない等のため、技術技能の継承に支障をきたす企業もあり。

### ◎質の高い人材の確保

- ・製造業の73%、非製造業の45%が、技術職、専門人材の採用を希望
- ・世代交代のため、経験者よりも新卒等の若者を採用しようとする傾向が大

### ◎地元企業への就職

- ・地元に残るかどうかの意識付けは、高校生の時になされる。
- ・保護者や学校が大手企業を勧める結果、県外就職に流れるケースが少なくない。

### ◎人材確保が厳しい中小企業や能登地区等への対応

- ・受注生産による知名度の低さや交替制勤務のため応募者が少なく、人材確保に苦慮している企業も多い。
- ・能登地区出身者が県内に就職する場合も、金沢止まりの者が多い。

### ◎若者と企業の雇用のミスマッチ

- ・若年者の失業率は横ばいで推移、大卒の早期離職率が全国より高い等、依然として雇用のミスマッチ状態が継続。
- ・十分な業界研究や企業情報の収集がなされず、周囲の声や賃金、勤務条件にとらわれて就職した結果、早期離職につながるケースが多い。
- ・企業から学校に対し、職場で必要な基礎的能力（コミュニケーション能力、ビジネス力、基礎学力）を身につけさせてほしい、との要望が強い。
- ・教師が多忙なこともあり、必ずしも発達段階に応じたキャリア教育がなされていない。

### ◎潜在的な労働力の活用

- ・育児女性やOB人材に対する企業の活用意欲旺盛。更なる活用拡大に向けきめ細かな施策を期待

※ 活用を拡大したい企業→育児女性 38%、OB人材 41%

(本文P. 24～)

## 3 今後の基本的方向

- ニーズと課題を踏まえ、産業界、教育界、行政が役割分担をしながら、地域が一体となって産業人材の育成、確保に取り組む

① **地域の教育インフラを活用した製造業における中核人材の育成**  
基幹産業である製造業について、産業競争力強化に必要な中核人材像を明確にした上で、高等教育機関や産業技術専門学校等を活用し、産学官連携により地域を挙げて人材育成を推進

② **ベテラン人材が培ってきた技術技能等を継承し、磨きをかける取組の推進**  
ベテラン人材が培ってきた技術、技能、ノウハウ等を本県産業の強みの源泉と位置づけ、次世代に確実に継承し、さらに磨きをかけることで、産業競争力を強化

③ **成長が期待されるサービス産業を担う人材の育成**  
成長が期待されるサービス産業の担い手として、IT、デザイン等の専門的能力や創造力、マネージメント能力等を備えた人材育成を推進

① **技術者、専門人材等の確保のための実効性ある取組の推進**  
技術者等を企業の事業展開のパートナーと位置づけ、目的意識が明確な若者を対象に、若者のやりたい仕事と企業の取組のマッチングを推進

② **将来の就職を見据えた早い段階での企業の魅力発信**  
将来の就職を見据え、高校までのできるだけ早い段階で、あらゆる機会を捉えて地元企業の魅力を発信。就職を控えた大学時の早い段階でもUターンを動機付け

③ **人材確保が容易でない企業、地域に対する支援**  
中小企業やものづくり企業の中でも、特に人材の確保が厳しい企業、人材確保が容易でない地域の企業について、企業や地域の魅力の抽出、若者との出会いの場の提供により、人材確保を支援

① **発達段階に応じた産業人材として必要な基礎的能力の養成、若者と企業の雇用のミスマッチ解消**  
子どもの発達段階に応じ、仕事をしていく上で必要な最低限の能力や職場で活躍するために必要な能力を養成。若者と企業の雇用のミスマッチ解消を図る等、若者への就業支援を強化。

② **女性、OB人材等の活用促進**  
女性、OB人材等の活用を促進

人材の育成

人材の確保

人材の裾野拡大

#### 4 具体的な施策(◎は新規施策)

計画期間: H19～H21年度  
(3か年計画)

### 1 産業人材の育成

#### (1) 地域の教育インフラを活用した製造業における中核人材の育成

- ・産業界のニーズを踏まえたオーダーメイド型講座の開設(大学等、産業技術専門学校、IT人材センター等、企業・業界団体)
- ・産業技術専門学校における公共職業訓練、地域の企業ニーズ等に対応した訓練科目の見直し(県)
- ・長期インターンシップ等を通じた人材育成(大学、企業)
- ◎地域の企業ニーズを踏まえた留学生に対する教育プログラム等の実施(大学、企業)
- ◎人材育成の優れた取組に対する表彰及び事例集の作成(県、企業)
- ・石川経営天書塾による次代の経営人材の育成
- ・公的機関、業界団体による人材育成
  - ISICO(産業大学講座)
  - ㈱石川県IT総合人材育成センター(若手社員研修、マネージメント研修、人材育成コンサルティング等)
  - ㈱繊維リソースいしかわ(いしかわ繊維大学)
  - (財)デザインセンター(いしかわデザインカレッジ)
- ・中小企業の社員が外部研修を受講しやすくなるための工夫(各人材育成機関)

#### (2) ベテラン人材が培ってきた技術技能等を継承し、磨きかける取組の推進

- ・技術技能等継承アドバイザーの登録、巡回指導(各アドバイザー派遣機関)
- ・企業内における技術技能等継承システムの構築への支援(各アドバイザー派遣機関、企業)

#### (3) 成長が期待されるサービス産業を担う人材の育成

- ◎大学生、高校生等を対象としたプロジェクト型キャリア教育(製品やサービスの企画提案等。県、企業、学校)
- ・雇用パッケージ事業を活用した能登地域の人材育成(能登地域の市町、経済団体等)

### 2 産業人材の確保

#### (1) 技術者、専門人材等の確保のための実効性ある取組の推進

- ◎産業人材確保のための官民共同ポータルサイトの開設(官民の関係機関)
- ・産業人材サポートデスクの機能強化(県)
- ・Uターンサポートセンターにおける相談、支援サービスの充実(県)
- ・県内在住の保護者等を通じたUターン希望者の発掘(県、市町)
- ・ふるさと就職支援センターのマッチング機能強化(県)
- ◎県内外の大学等の理系教官、就職支援担当者等と県内企業との懇談会(ISICO、大学、企業)
- ◎各大学就職支援担当者によるセミナー(ISICO、大学、企業)

#### (2) 将来の就職を見据えた早い段階での本県産業及び企業の魅力発信

- ◎高校生を対象とした企業ふれあいグループワーク(県、企業、高校)
- ・石川版教科書「ふるさと石川」を活用した授業(高校)
- ◎民間人材支援会社と連携したUターン・インターンシップ(県、企業)
- ◎大学生、高校生を対象としたプロジェクト型キャリア教育(県、企業、大学・高校)(再掲)
- ・小中高校の社会科、産業社会と人間、総合的な学習の時間等への仕事探しシェルパの派遣(県、企業、学校)
- ◎専門学校における実践的指導(企業技術者による実践的授業、教員の企業での技術習得等)(県教委、企業)
- ◎保護者に対する意識啓発セミナー、企業見学会(県企業)

#### (3) 人材確保が容易でない中小企業、地域の人材確保に対する支援

- ・ISICO人材アドバイザーによる相談、支援
- ・いしかわ元気企業ナビによる企業の魅力発信(ISICO)
- ・企業見学会、企業交流会、企業説明会の開催(県、企業)
- ・人材育成や雇用促進、社会貢献等に積極的な企業である旨の発信(県)
- ・インターンシップ、企業見学会の実施(県、企業)
- ◎能登地域出身の学生等を対象とした企業見学会、Uターンホームページの開設(県、企業)

### 3 産業人材の裾野の拡大

#### (1) 発達段階に応じた産業人材として必要な基礎的能力の養成、若者と企業の雇用のミスマッチ解消

- ・発達段階に応じた学校教育全体を通してのキャリア教育の推進(県教委)
- ◎キャリア教育に積極的に取り組む学校への専門家チームの派遣(県、学校)
- ・インターンシップの充実(受入企業の拡大、事前事後研修の充実等)(県、学校、企業)
- ・キャリア教育のための教職員研修の充実(県教委)
- ◎仕事をするために最低限必要な能力(コミュニケーション能力、ビジネスマナー等)の養成(県)
- ◎キャリア教育支援講座の実施(県)
- ◎経営者を対象とした定着促進セミナー(県)
- ◎早期離職防止のためのフォローアップカウンセリング(県)
- ・雇用のしくみ、制度、法律の周知(県)
- ◎若者しごと情報館におけるマンツーマンの就業支援。奥能登地域での出張相談(県)
- ・地域サポートステーションを核としたニート等支援機関によるネットワークの構築(雇用支援協会)
- ◎若者しごと情報館とジョブカフェ石川の統合による機能の充実(若年人材の確保、育成の拠点)(県)

#### (2) 女性、OB人材等の活用促進

- ・ワークライフバランス(職業生活と家庭生活との調和)に配慮した職場環境の整備(企業)
- ・女性再チャレンジ支援室による女性の再就職等の支援、関係機関との連携強化(県)
- ・OBの再就職支援のための能力開発(県)
- ・OB人材のマッチングの促進(協議会)